



青い星とも呼ばれる地球には、澄み渡る青い空や広がる青い海などの美しい自然がたくさんある。青色の景色を見ると、私は青色に包まれて生きてきたのだと感じられる。常々青をテーマに制作したいと考えていたのだが、最近水族館に行く機会があり、シャチを見てインスピレーションが湧いた。大きな体でゆったりと漂う姿を見て、雄大な自然の力を感じ、この感覚を作品にしたいと強く思い、青が広がる景色の中を泳ぐシャチを描いた。

自然の様々な青色を形容するために、タイトルには「蒼」という漢字を用いた。

日本画

岩絵具、水干絵具、胡粉、銀箔、墨、高知麻紙 H227cm×W146cm 1点

令和6年度 筑波大学芸術専門学群 卒業研究・作品集より

このコーナーでは、筑波大学芸術系ならびに同大学の芸術専門学群を卒業された方々のご協力のもと、芸術作品を掲載しています。